

# 令和3年度 第12回 理事会議事録

日時：令和4年5月24日（火）19:00~20:13

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林司、有泉、名取、  
平賀、菊池、古屋、井村、大西、鈴木、北山  
(監事) 谷村、斎藤  
(部長) 小林泰、秩父、秋山

書記：笠井

## 会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数147

会員数931名（施設869名 自宅62名）

本日までの新入会の申請は15名

磯野会長より挨拶

現体制での理事会は今日で最後となる。2年間本当にお疲れ様でした。小林前会長が亡くなって1年経ったが、会長亡き後、皆さんのおかげで県士会を何とか運営していくことができた。ありがとうございました。選挙が終わったが次期体制の中でも皆さんにご活躍をしていただきたい。5月10日に年度末監査が終わり次年度への課題等が整理できた。後で報告をする。

## I. 審議事項（全4題）

### 1. 令和3年度年度末監査報告：谷村、斎藤監事

令和3年度の事業報告、計算書類（財産目録、貸借対照表及び正味財産増減計算書）、これらの附属明細書の監査を行い不正はみられなかった。内容については総会で説明をする。

#### 【監査総括】

- ・小林前会長から磯野新会長に体制が引き継がれ、大変な状況の中、皆さんで協力して士会運営を滞りなく進めてこられたことに感謝したい。
- ・士会の広報活動に関して山日新聞への掲載など、今後も引き続き検討をお願いしたい。
- ・コロナ渦の中、WEB環境の整備・活用を含め、士会員へ還元できることを引き続き検討いただきたい。
- ・事務管理局の負担も大きいと思われる。他の部局・委員会を含め、役割の兼務を出来るだけ避け、部局員・委員等の定員は複数として、業務の負担軽減を検討いただきたい。
- ・研修会の講師については、偏ることなく幅広く人選をして頂きたい。
- ・会員の動向については、県内の採用人員状況や退会者の理由等を調査・分析・対策等を協会と連携して講じて頂きたい。
- ・多額の繰越金については、会員の理解が得られる様に対処して頂きたい。
- ・オリンピック・パラリンピックへの協力事業につい

ては、報告書を作成して歴史的な事業の記録として残し、後世に伝えて頂きたい。

### 2. 令和4年度一般社団法人山梨県理学療法士会定期総会に向けて

#### 1) 役員候補選挙結果について：選挙管理委員会代理報告 有泉局長

役員候補選挙に関して定数内での立候補者数であった。立候補者は無投票当選とし、令和4年度の定期総会で、報告し審議をしていただく。

#### 2) 候補（理事）の理事会推薦について：磯野会長選挙結果を受けて、円滑な事業運営のため理事がもう1名必要と感じる。理事会内の推薦として井村先生を理事として推薦したい。

井村：次期も理事として立候補したい。

#### 【結論】

理事全員賛成。井村先生を理事候補として理事会推薦とする。

#### 3) 令和4年度総会議案集について：有泉局長資料について修正の指摘があった箇所は訂正した。明日から総務部の澤田さんが資料を印刷し各施設、自宅へ配布する準備をする。訂正する箇所があれば定期総会の当日、口頭で説明することとする。今の時点で間違いが分かれば訂正できる。

井村：調査研究部の次年度の計画予定で『今年度実施するアンケート調査を3回に分けて実施』→『会員に対するアンケート調査を実施予定』に修正する。

### 3. 糖尿病対策推進委員会主催講演会について：小林副会長

年2回研修会を企画、主催（共催）の形で企画しているがよろしいか審議を願う。（期限が迫っていたので臨時3役で審議をしてもらい了承を得ている。）

#### ・令和4年7月28日（木）：富士北麓糖尿病療養指導を学ぶ会

共催：帝人ヘルスケア株式会社・山梨県病院薬剤師会

#### ・令和4年9月16日か22日：仮）多職種連携セミナー（WEB）

共催：帝人ヘルスケア株式会社・山梨県内部障害理学療法研究会

#### 【質問・意見】

菊池：生涯教育の単位について、現行の制度では新プロという項目はなくなった。今回の研修会は登録理学療法士、認定専門の更新ポイントとして申請できる。登録理学療法士の取得ポイントにはならない。

小林：申請はいつ頃出すのか。

有泉：協会事務局から新包括的会員管理システムについてメールが数多く届いているが、内容につ

いて十分に把握できていない。

北山：新包括的会員管理システムを使って、県士会としてセミナー登録をすれば、参加ポイントがつけられると思う。その点について詳しい協会研修部の瀧口部長と相談し確認する。研修会の前までにはセミナー登録をして、ポイントがどれぐらいつくのか、計算して表記できるように準備をしていく。

#### 結論

研修会の企画について理事より了承を得る。生涯教育の単位について、確認して準備をしていく。

#### 4. ACP の普及啓発に関する作業部会への協力について ：鈴木局長

甲府市では市民および医療介護関係者への ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発が課題となっており、周知方法や内容等について作業部会で意見を集め、来年度以降に周知活動を進める予定となっている。

私にも作業部会への参加協力依頼があったので参加予定であるが、PT 士会として何か意見などあればお聞きしたい。作業部会は、6 月、9 月、12 月の 3 回の予定となっている（詳細未定）。

#### 意見

磯野：啓発活動をしている保健師が様々なところに行き活動しているが、PT として相談を受けたことがない。

井村：研修会に参加したときに、城東病院が取り組んでいることを知った。

#### 結論

ACP に関わっている P T が少なく、理事会として統一した意見をもつまでに至っていない。作業部会に参加して、こんな事が話題として挙がっているなど、理事会で伝えてほしい。

## II. 報告事項

### 1. 各委員会等の報告

①50 周年記念事業実行委員会 事業報告：三科副会長 実施報告書を作成した。資料の後半に振り返りとして実行委員からの意見を記載しているので、9 年後に担当される方に備えておければよいと思う。議事録と実施報告書を記録として、フォルダか CD 媒体で保管しておく。

#### 意見

有泉：事務所には記録として紙媒体で保管しておく。  
磯野：記録として CD や紙媒体ではなく、クラウドに上げて、権限のある人が過去数年分を見ることができるようにした方がよいのではないか。  
今後、検討すべき課題であると思う。

②訪問理学療法委員会：小林副会長  
21 日にリーダー会議に参加してきた。

今までより内容が濃く、リハビリテーション専門職団体協議会が、何をしようとしているかが分かったという感想が参加者から聞かれた。各県士会でも訪問リハの実務者研修会にしっかりと取り組み、質を守ってもらいたいという内容であった。詳細については次回の理事会で報告する。

③災害対策委員会：小林副会長  
ベーシック講習会に磯野会長が出席する。

### 2. 各局からの報告

#### ①社会局（古屋局長）

・スポーツ理学療法部について、5 月 28 日、全国スポーツ理学療法運営担当者 WEB 会議に小林部長が出席する予定。

## III. 事務管理局より（有泉事務局長）

### 1. 今後の日程について

5 月 24 日（火）理事会（監査報告）

6 月 15 日（水）：総会、令和 4 年度第 1 回理事会開催、代表理事（会長選出）

6 月 28 日（火）：令和 4 年度第 2 回理事会（拡大理事会）出席は各局部長および委員長までとなる。  
局長の先生は部長に連絡をお願いしたい。

### 2. 総会の流れについて

- ・開会の挨拶は高村副会長、閉会の挨拶は三科副会長が行う。
- ・協会長からの電報披露は会長が行う。
- ・各局の事業報告は各局長が行う。
- ・zoom 操作は平賀局長が行う。
- ・決議は実際の拍手は用いずにリアクション機能を使用する。

3. 自民党県連から予算における要望がきた。7 月 29 日が締め切りとなる。

4. 6 月 5 日永井候補の決起集会が行われる。

## IV. 次回の理事会日程について

拡大理事会

令和 4 年 6 月 28 日（火）19：00～

場所 Web 会議

連絡 6 月 24 日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。